

JACET-Kansai Newsletter

No. 33 June 5, 2006

Chapter President: 木村 博是 (Hiroshi Kimura, Kinki University)

JACET-Kansai Office: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室内

(Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-city 522-8533)

Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

Postal Account : 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部 (Daigaku Eigo Kyoiku Gakkai Kansai Shibu)

語彙と想像力

支部長 木村博是

この度、JACET 関西支部大会（6月3日）の総会で、ご承認をいただき支部長に就くことになりました。岡田伸夫前支部長の路線を継承しつつ、誠心誠意、責務を果たさせていただきます。支部会員の皆様のご支援、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

さて、最近どの大学でも、ネイティブ教員が担当する授業が増えています。英語を母語とする人と接触する機会が増えるのは良いことだと思います。実際、学生の授業アンケートでも、ネイティブ教員の授業を望む声がたくさん見受けられます。では、ネイティブ教員の授業の魅力とは何でしょうか。英語を母語とする人に教えてもらうことによって、雰囲気を楽しむことができる、英語圏の人々の発想に触れることができる、英語を話す機会が多くなる、などいろいろな要因があるでしょう。そのようなネイティブ教員の指導から、日本人教員にも参考になるテクニックがあります。

先日、あるネイティブ教員の授業を参観しました。ニュースのリスニングとボキャブラリーのトレーニングがテーマでした。ニュースのリスニングの前に、教員は黒板に単語をいくつか書き、「これらの単語はニュースに使われているものです。単語からストーリーを推測しなさい」と言って、学生たちに単語の意味を理解させたあと、それを使ってストーリーを作らせました。それから実際にニュースを聞き学生があらかじめ作ったストーリーと比較させました。次にニュースに出てきたイディオムや合成語を書き出し、学生に意味を推測させました。

このような授業は、語彙と想像力を強化させるものです。たしかに語彙力があれば、リスニングであれリーディングであれ、単語から大体のストーリーを把握することができます。TOEIC[®]テストのリスニング Part 3 の会話問題には、会話の場所を問う質問 (“Where does this conversation probably take place?”) などがよく出題されますが、このような質問は、語彙力があれば簡単に答えられます。会話から細かいことを聞き取ること

ができなくても、話し手が使用している単語から会話の場所を推測することができるからです。例えば waiter, order, ready, dish, bill という単語が使われていれば、レストランの会話と推測できるし、deadline, editor, article という単語が聞こえてくれば新聞社での会話である可能性が高いと推測できます。リーディングについても同じです。TOEFL のリーディングでは、語句の意味を問う問題(例: The word **plant** in paragraph 1 is closest in meaning to (A) factory (B) farm (C) flower (D) planet) を先に解き、使用されている単語を把握すれば、パッセージの内容が推測しやすくなります。つまり plant には factory という意味と flower に近い意味がありますが、とりあえず前後だけ見てどちらの意味か推測できればパッセージ全体のテーマが推測できます。もし factory なら産業や経済についてのパッセージである可能性が高く、flower に近い意味なら農業や環境問題の可能性が高いでしょう。単語をたくさん知っていれば、語彙力を駆使してリスニングやリーディングの問題を解くことができます。もちろん、リスニングでは音の連結や消滅、リーディングではパラグラフの構成など他にも重要な項目はあります。しかし何といたっても基本は語彙力です。語彙力を強化することは非常に大切です。

しかし、単語の数は膨大ですべてを覚えるのはまず無理でしょう。そこで必要になるのが想像力です。とくに presuppose, reschedule, caffeine-free, water-proof などの接頭辞、接尾辞を使った合成語や、around the clock, catch on などの簡単な単語で形成されたイディオムは、たとえその意味を知らなくても、前後の文脈などから想像することが可能です。想像力を駆使すれば、TOEIC[®]テストや TOEFL だけでなく、新聞や雑誌を読んだりニュースを聞いたりするのが容易になります。

もちろん辞書を引き、わからない単語の意味を確認する習慣をつけることは大切です。しかし、教室や自宅のような勉強する場所では辞書を引くことができても、試験会場など英語を運用する場所では辞書に頼るわけにはいきません。わからない語句は想像するしかないのです。意味を想像さ

せるトレーニングは日本人教員にもできます。教育効果を高めるため、ネイティブ教員の授業からも参考になる点を取り入れ、魅力のある授業作りに役立てていくことができればと思います。

支部研究会について

本年度は第9次研究会の2年目にあたります。このたび、「英語教育総合研究会」が新たに発足し、支部研究会は全部で12となりました。

各研究会では、原則として、常時新入会員の申込みを受け付けておりますので、ご関心の研究会がございましたら、お気軽に各研究会の担当者までご連絡になって下さい。

なお、支部HPには各研究会の詳細情報が掲載されております。あわせてご覧下さい。

(研究会名の50音順)

ESP研究会

代表：新田香織

連絡先：kamiya[AT] ip.oit.ac.jp (神谷健一)

英語教育総合研究会

代表：成田 一

連絡先：narita@lang.osaka-u.ac.jp、事務連絡：suzuki-k@tachibana-u.ac.jp (鈴木規巳洋)

英語力指標研究会

代表：藤林富郎

連絡先：t-fujibayashi [AT] kinran.ac.jp

英文法研究会

代表：山本英一

連絡先：yamamoto [AT] ipcku.kansai-u.ac.jp

海外の外国語教育研究会

代表：脇田博文

連絡先：wh2440 [AT] world.ryukoku.ac.jp

教材開発研究会

代表：持留浩二

連絡先：hgaeru [AT] yahoo.co.jp (仲川浩世)

口語英語研究会

代表：横山仁視

連絡先：yokoyama [AT] kyoto-wu.ac.jp

談話分析研究会

代表：高木 佐知子

連絡先：takagi [AT] lc.osakafu-u.ac.jp

文学教育研究会

代表：吉村俊子

連絡先：ty3asy [AT] mbox.kyoto-inet.or.jp

ライティング指導研究会

代表：西嶋久雄

連絡先：hisnishi [AT] mukogawa-u.ac.jp

リーディング研究会

代表：倉本充子

連絡先：a-kuramo [AT] it.hirokoku-u.ac.jp

リスニング研究会

代表：河内山 真理

連絡先：katayama [AT] kuins.ac.jp

2006年度春季大会報告

6月3日(土)に立命館大学衣笠キャンパスで開催の支部大会には、「英語教育の改革ー今求められるニーズと実践ー」をテーマに160名を超える参加がありました。

午後のシンポジウムでは、「大学英語教育を変えるーESPを知る」と題して、横川博一研究企画委員長司会のもと、4名のパネリストが、それぞれESPのニーズを知る：企業の現状と大学の現状、ESPを支える理論とは何か、そしてどのように実践に生かすかについて、それぞれの見解を述べられました。OCHA (Observe, Classify, Hypothesize, Apply)とESP (English for Survival Purposes)の2つの略語が印象に残るシンポジウムでした。

その後の懇親会には60名近くが集い、新旧支部長のお話や、本部からの代表幹事寺内一先生も交えて、楽しい友好の時を過ごしました。

会場校の言語教育情報研究科長中村純作先生をはじめ梅咲敦子先生、吉田信介先生そして各種ご尽力下さいました皆様に御礼申し上げます。

第1回談話会のお知らせ

講師：東 眞寿美先生(神戸芸術工科大学)

演題：「TEFLにおけるメタフォリカル コンピテンスの研究」

日時：2006年7月1日(土)16:15-17:45

場所：関西外国語大学中宮キャンパス

詳細は同封の「談話会のお知らせ」をご覧ください。

** * * * * ** * * * * ** * * * *

今年度は談話会を3回(第2回は12月9日、第3回は3月3日)と講演会1回(10月末)を予定しております。講演会につきましては、講師と日時が決まり次第HPにてお知らせいたします。またニューズレターでもご案内いたします。